

熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会誌



ハナミズキ

Vol. 7

Mar. 2021



同窓会会長挨拶

リハビリテーション学科

同窓会会長 木戸 拓耶

皆様、こんにちは。リハビリテーション学科同窓会会長を務めさせて頂いております、生活機能療法専攻6期生の木戸拓耶と申します。今年度も同窓会の発展のために役員一同努力して参ります。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年も無事に同窓会誌「ハナミズキ」を発行することができました。今回の「ハナミズキ」では、研修会案内や活動報告をするためのホームページ開設に加え、旧アーリーナのレストラン改装にあたっての完成図や写真などを掲載しています。

本同窓会では今年度、車椅子トラベラーの三代達也氏の講演、誠佑記念病院、診療技術部リハビリテーション室室長の北出貴則先生にご講演して頂く予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期という形を取らせて頂きました。来年度、再度お二人の講演を快くご承諾頂けたので、お二人にご講演を頂く予定です。皆様と共に多くの事を学ぶことができる機会、また先輩後輩同士が繋がるきっかけとなれば幸いです。

最後になりましたが、熊本保健科学大学の卒業生として今後も一緒に大学や同窓会を盛り上げていきましょう。今年度も変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

教員挨拶

■ウィズ・コロナ時代の大学教育

銀杏学園 理事長

熊本保健科学大学学長 竹屋 元裕

コロナ禍に加え、九州では7月豪雨が発生し、大きな被害となりました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染者が国内で初めて確認されたのが、1月16日でした。一例目は、武漢からの帰国者ということで、誰もが渡航者の水際対策を万全にすれば、そのうちに収束するだろうと思っていました。ところが、このウイルスは、あれよあれよと思ううちに世界全体に広がってしまいました。国内でも感染者が急増し、第一波は収まったものの、7月になってさらに大きな第二波が襲ってきました。

新型コロナウイルスは大学教育にも大きな影響を与え、保健医療系大学の責任を考えると、本学では卒業式や入学式を中止せざるを得ませんでした。新学期も日程を遅らせて開始し、遠隔授業を全面的に導入しました。しかし、遠隔授業のみでは十分な教育効果を得るのは

困難で、保健医療系では臨床実習も不可欠です。世の中でも完全自粛では社会経済が成り立たないことがわかり、ウイルスとの共存社会、すなわちウィズ・コロナ時代のニューノーマルが求められています。大学教育も例外ではありません。

そこで、本学ではクリーンな教育環境の確立を目指して、独自に新型コロナウイルスのPCR検査体制を導入致しました。幸い、学内にはPCR検査手技に精通した教員が多く在籍し、最新の機器も保有していることから、迅速に検査体制を確立できました。今後、本人の了解のもと、学生・教職員全員の陰性証明を行う予定で、これにより実習施設の信頼を得ることが可能となり、学内の授業もスムーズに実施出来るものと考えています。万が一、感染者が発生した場合でも、独自のPCR検査によって迅速な対応と早期治療が可能となります。保健医療系大学の特徴を生かしつつ、ウィズ・コロナ時代の教育環境の確立を目指したいと思っています。

最後になりますが、同窓会運営に携わっている役員の皆様のご尽力に感謝するとともに、リハビリテーション学科同窓会ならびに同窓生各位の益々のご発展をお祈り申し上げます。

OSCEのいま

リハビリテーション学科
 学科長 山野 克明

リハビリテーション学科では教育方法の質を改善するための一環として、客観的臨床能力評価試験（OSCE）を本格導入すべく準備を進めています。ST専攻で先行して実践していただいたので、松原慶吾先生に学内で講師を務めて頂きOSCEに関する知識を深めていきました。そして、OSCEでは先駆的な実践を進めている藤田医科大学を訪問し、OSCEの実際を見学したり先生方と意見交換をするなどしながら、本学でのOSCE実践計画を充実させていきました。

リハビリテーション学科では三専攻ともに実習前OSCEの試行を始めています。そして、良い点と課題を抽出し教員間での話し合いを繰り返しながら、学生が安心して実習を始めることができるよう努めています。いまのところOSCEは専任教員でまかなっていませんが、OSCEの価値を高めるためには臨床で活躍されている先生方の協力が欠かせないこともわかってきました。卒業生の皆さまには、リハビリテーション学科で実践しているOSCEの意義をご理解頂き、後輩の育成に力をお貸し下さるようお願い致します。

新しい生活様式について

理学療法学専攻
 専攻長 久保 高明

同窓生の皆さま、ご無沙汰しております。

今年、コロナ感染症の拡大に伴い、3月の卒業式や4月の入学式の中止を余儀なくされました。また、講義開始も4月の末からとなり、5月いっぱいZOOMなどを用いた遠隔講義を行い、6月からは一部の演習科目については、学年により午前・午後で分けて、対面での実施となりました。理学療法学専攻では、毎回、登学時には体温チェックも行いました。4年生の総合臨床実習Ⅰは学内演習となり、臨床総合実習Ⅱはかろうじて実習施設の確保ができましたので、現在、実習中です。しかし、実習期間中に就職試験を予定している施設があり、いくつか解決をしないといけない課題が出てきております。また、国家試験が無事に開催されるのかも気になります。

今年、経験することのほとんどは新しい生活様式となり、齢を重ねた当方の場合、変化についていくだけでも四苦八苦しております。若い皆さんには予備力があるので心配は少ないと思いますが、日頃から、起こり得る変化への対応方法を検討しておくことをお勧めします。

感謝

生活機能療法学専攻
 専攻長 吉田真理子

新型コロナウイルスの影響は、大学の授業や行事、サークル活動など、ありとあらゆることに及んでいます。

4年生は5月からの学外臨床実習に行きませんでした。担当者を中心に調整を行い、ぎりぎりまで準備をしていましたが、熊本市がリスクレベル4となり、学内実習になりました。7月からの地域実習は学外実習で始まりましたが、再び熊本市・県がレベル4となり、途中から学内実習となりました。学生達は、お世話になっていた実習施設に慌ただしく別れを告げ、翌日は大学に登校しました。「最後まで施設で実習したかった。仕方ないけれど」という声が多く聞かれました。

このような状況で私の励みになったのは、臨床で働く方々の、学生を想って下さる気持ちでした。厳しい状況で実習を受け入れて下さった方々だけでなく、「実習の受け入れ不可」の連絡後に、「学生さんの実習はどうなりますか?」「卒業に影響しませんか?」と心配して下さる方々もおられました。大変な日々の中、臨床の方々の温かい想いに触れ、感謝の気持ちで一杯になることが度々ありました。

この方々の想いは、学生達への期待の表れだと思っています。そしてその期待は、卒業された皆さん方の、周りの期待に違わぬ活躍に支えられていると思っています。

皆さんと臨床の方々への感謝の気持ちには、作業療法士養成に「努力を尽くす」ことでお応えしようと考えています。

■大きな変化が……

言語聴覚学専攻

専攻長 大塚 裕一

ここ1年間での様々な環境変化は「びっくり」を通り越して、「ぼーぜん」という感じがびつたりの表現のよくな気がします。振り返ると1月のコロナ感染症ではじまり、7月には信じられない被害をもたらした集中豪雨、4年毎に開催されているオリンピックも史上初めての延期……我々は自然がもたらす予測できない脅威に翻弄されているという感じがします。その中で、学校教育の方法も大きく変化せざるをえない状況になりました。理由の第一はコロナ感染症です。我々も様々な対応方法を検討し、新たにインターネットを使用した講義などを取り入れました。しかしこれまで当たり前のよ

うになされてきた対面講義、演習、学外実習……その活動制限の対応は遠隔講義のみでは埋めることが難しいと感じているのは私ばかりではないでしょう。そのほかにも様々な制限が余儀なくされ、職員、学生もかなり戸惑っている状況はいまもお続いています。多くのTVコメンテーターの方がこのような環境下での生活様式が当たり前になると述べています。私もこれは環境変化からもたらされた流れであり、その中でいかに順応した生活をしていくか、その方法を考えることが必要なのか、と感じています。一人一人の創造性、発想力など、考える力がますます必要になってくる時代の到来ということでしょうか。



新任教員紹介

新任の先生方に趣味をうかがいました！



ST専攻
医師
山田 和慶 先生

趣味は、温泉巡り…最近はコロナで行けてません。



OT
松尾 崇史 先生

趣味は、教員になってからは専ら研究が趣味でしょうか。お酒は好きです。



令和3年度 講演会のご案内

日時 令和3年9月を予定

講師 三代 達也 さん (車いすトラベラー)
「車いすで世界一周した体験談について」
 北出 貴則 先生 (理学療法士)
「シーティングについて」

開催方法 ZOOMでの開催を予定。詳細は改めてお知らせいたします。



三代 達也 さん

新聞やテレビなど、メディア出演に加え、各地の講演会に出演。
 令和元年、「一度死んだ僕の、車いす世界一周」を出版。

北出 貴則 先生

理学療法士・生活環境専門理学療法士・福祉用具プランナー
 平成元年、行岡保健衛生学園医学技術学校リハビリテーション学科卒業
 摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程日本赤十字広島看護大学非常勤講師
 和歌山国際厚生学院理学療法学科非常勤講師
 履正社学園スポーツ医療専門学校理学療法学科非常勤講師
 NPO法人和歌山口腔ケア&摂食・嚥下研究会理事
 現在、医療法人誠佑記念病院診療技術部リハビリテーション室室長
 平成28年、ベント・エングストローム・コンセプトマスターの称号を習得
 第16回日本褥瘡学会学術集会の教育講演・シンポジウム・WOCN講座講師
 第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会のスキルアップセミナー講師
 現在まで福祉用具メーカー会社との共同研究開発実績多数
 (褥瘡、車いす、歩行器など)

著書：「ネットワークで支える嚥下障害改善のための口腔ケア」

「がん患者の褥瘡ケア」

「誤嚥を防ぐポジショニングと食事ケアー食事のはじめからおわりまで」

など執筆多数

講演会テーマ希望受付

毎年、同窓会にて講演会・勉強会を企画しています。より皆様にとって有意義な機会にするために、講演会・勉強会の希望を受け付けています。

この講師・先生の講演を聞いてみたい、こんなテーマで開催してほしい、など皆様から頂いた希望を同窓会がサポートできればと考えています。

皆様からの貴重なご意見・ご要望をお待ちしています。

同窓会学術局

連絡先 Email: 2019khsu@gmail.com

熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会会則

平成30年4月1日制定

第1章 総 則

- 第1条 この会は、熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会という。
- 第2条 この会は、本部を熊本保健科学大学リハビリテーション学科内（熊本市北区和泉町325番地）におく。
- 第3条 この会は、会員相互の親睦を図ると共に、学術技能の向上に努め、母校の名声を宣揚し、その発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- 1 各専攻間の連携・親睦を深めること。
 - 2 同窓会誌及び同窓会会員名簿発行に関すること。
 - 3 学術研修会及び研究発表会に関すること。
 - 4 その他この会の目的を達成するため必要な事業。

第2章 会 員

- 第1条 この会の会員は、次のとおりとする。
- 正会員 熊本保健科学大学リハビリテーション学科を卒業したものの。
特別会員 熊本保健科学大学職員で、会長の推薦したもの。
準会員 熊本保健科学大学学生
- 第2条 この会の会員（特別会員を除く）になろうとする者は、総会に於て定められた会費を納入しなければならない。
- 第3条 会員は、氏名、住所、勤務先等に変更が生じた場合は、その都度指定した連絡先に通知するものとする。

第3章 役 員

- 第1条 この会に、次の役員をおく。
- | | |
|------|-----------------|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 2名 |
| 評議員 | 4名 |
| 評議員 | 2名（事務局・学術局から1名） |
| 監事 | 2名 |
| 常任委員 | 各専攻・各期から2名 |
- 第2条 役員の選出方法は次のとおりとする。
- 1 会長及び副会長は、正会員の中より評議員会において選出する。
 - 2 評議員及び会計・監事は、常任委員会において常任委員の中から選出する。
 - 3 常任委員は、総会において会員の中から選出する。
- 第3条 役員の職責は、次のとおりとする。
- 1 会長は、この会を代表し、会務を統轄する。
 - 2 副会長は、会長を補佐し、会長に支障ある時はこれを代行する。
 - 3 評議員会は、会長の諮問する重要事項を審議する。
 - 4 監事は、この会の経理を監査し、評議員会に報告する。
- 第4条 役員の任期は、次のとおりとする。
- 1 会長は、任期を1年とする。
 - 2 副会長及び会計・監事・評議員は、任期を1年とする。
 - 3 常任委員は、任期を任意とする。
- 第5条 この会は、本部に事務局と学術局を設ける。
- 第6条 事務局は、常任委員より選出し、庶務部、企画部の係をおく。
- 1 庶務は、会員の異動調査及び会員名簿の出版等庶務一般の管理を担当する。
 - 2 企画は、総会・同窓会誌・講演会・懇親会の企画及び業務を担当する。
- 第7条 学術局は、常任委員より選出し、学術研修部、研究発表部の係をおく。
- 1 学術研修部は、研修会の企画・運営を担当する。
 - 2 研究発表部は、研究発表会の企画・運営を担当する。

第4章 会 議

- 第1条 会議は、総会及び評議員会とする。
- 第2条 総会は、次のとおりとする。
- 1 毎年本校において開催する。但し都合によって開催地を変更することができる。
 - 2 次年度の事業・予算決定、前年度の事業・決算報告の承認、その他会長が付議した重要な事項を議決する。
 - 3 議事は、出席者の過半数をもって決する。
 - 4 総会の欠席者は、議決に関する一切の権限を議長に一任することとする。
- 第3条 評議員会は、次のとおりとする。
- 1 会長が必要に応じてこれを招集する。
 - 2 総会に付議すべき事項、事業の執行に関する事項、その他会長が付議した事項について議決するものとする。

第5章 会 計

- 第1条 この会の経費は、会費、寄付金、賦課金及びその他の収入とする。

- 第2条 予算及び決算については、次のとおりとする。

- 1 この会の予算及び決算は、総会においてその承認を得なければならない。
- 2 決算書には、すべての財源及び使途ならびに現在の経理状況を明らかにし、会計監査を受け、その意見書を添付しなければならない。

- 第3条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 第4条 この会の会計経理は、この会則に定めるもののほか、会計規則で定める。

第6章 会則の変更

- 第1条 この会の会則の改正は、総会において承認をうけなければならない。

付 則

- 1 この会則は、平成25年8月3日から施行する。
- 2 この会則は、一部改訂し、平成28年4月1日から施行する。
- 3 この会則は、一部改訂し、平成29年4月1日から施行する。
- 4 この会則は、一部改訂し、平成30年4月1日から施行する。

細 則

(会費・入会金・納入時期)

- 1 第2章第2条による会費は、永年会費5,000円、入会金5,000円とする。
- 2 会費は、熊本保健科学大学リハビリテーション学科入学時に納入するものとする。
- 3 準会員で退学したものは申し出により会費を返金するものとする。

会 計 規 則

平成30年4月1日制定

- 第1条 この規則は、会則第5章に基づき、会計に関する必要な事項を定める。
- 第2条 会計は、経費及び物品の出納事務を取り扱い、会計担当常任委員がこれを行う。
- 第3条 出納の事務は、すべて文書により処理し、会長の決済を経なければならない。但し、請求書または領収書徴収不能の場合は、会長または会計担当常任委員以外の常任委員1名以上の認定を以て、これに変えることができる。
- 第4条 会計または支出に対し、不当と認められた時は、評議員会にはかるものとする。
- 第5条 予算外の支出または予算超過の支出に当てるため、予備費を設けることができる。
- 第6条 出納の経理を明らかにするため、下記の帳簿を備え証書類と共に保管しなければならない。
- (1) 金銭出納簿 (2) 会費納入者名簿 (3) その他の補助簿
- 第7条 会務のために出張する者または会務に従事する者に対しては、最低限必要と思われる旅費及び行動費を支給することができる。
- 第8条 会計は、年度毎に収入支出決算書を作成し、会計検査を受け、その意見書をつけて、総会に提出しなければならない。
- 第9条 会計は、総会までに収入予算案を編成し、評議員会の議を経て総会に提出しなければならない。
- 第10条 会計は、必要に応じ評議員会の議を経て、一会計年度中の一定期間内にかかる暫定予算を作成し、これを執行することができる。この場合、暫定予算は当該会計年度の予算が成立したとき、その効力を失う。
- 第11条 会計は、必要と認めるときは会長の承認を経て、資金前渡を行うことができる。この場合、事務終了後直ちに精算しなければならない。
- 第12条 この規則の改正は、評議員会の承認を得なければならない。

- 1 この規則は、平成30年4月1日より施行する。

旅費及び行動費支給規定

平成30年4月1日制定

- 第1条 この規定は、会計細規則第7条の規定により旅費及び行動費支給に関する必要な事項を定める。
- 第2条 この会の会員及びその他の者で、会長の命令又は要請により会務のため出張する者又は会務に従事する者にはこの規定により旅費及び行動費を支給する。
- 第3条 前条の旅費とは、交通費の実費及び会長が必要と認められた場合の宿泊料とする。
- 第4条 行動費は日数に応じ、宿泊料は夜数に応じて支給する。
- 第5条 交通費は、等級の区分がある場合は最下級のものとし、必要がある場合は急行及び寝台の料金を加算することができる。
- 第6条 交通費実費の計算は目的地までの最短順路によって行う。但し、天災その他やむをえない事由により順路を変更した場合はその現に経過した経路による。
- 第7条 宿泊料は実費を支給する。行動費は日額1,000円とする。
- 第8条 会長は時宜により旅費及び行動費の一部もしくは全部を支給しないことができる。
- 第9条 この規定の改正は評議員会の承認を得なければならない。

- 1 この規定は平成30年4月1日より施行する。

平成31年度 事業報告

I. 運営に関する事項

1. 総会開催
令和元年9月14日（土） 熊本保健科学大学
2. 役員会
20回開催

II. 教育に関する事項

- 講演会開催
令和元年9月14日（土）、15日（日）
熊本保健科学大学
「脳画像から読み解く障害の理解」
吉尾雅春先生

III. 調査研究に関する事項

- 会員の活動状況の把握
会員の住所録調査とデータ管理

IV. 福祉に関する事項

- 式典（入学式、卒業式）参列並びに祝電送付
会員、準会員の慶弔禍福

V. 出版に関する事項

1. 同窓会誌『ハナミズキ』第6号発行

平成31年度 収支決算報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

I. 収入の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会費収入	1,200,000	1,340,000	▲140,000	平成31年度入学生134名
2. 補助金収入	250,000	200,000	▼50,000	学校法人銀杏学園200,000円
3. 講演会費	440,000	457,500	▲17,500	参加費 1日目1,000円、2日目1,500円
4. 雑収入	88	100	▲12	銀行利息
5. 前年度繰越金	9,184,266	10,990,227	▲1,805,961	
収入合計	11,074,354	12,987,827	▲1,913,473	

▲：予算額より収入増

▼：予算額より収入減

II. 支出の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差異	備考
1. 懇親会費				
1) 講演会開催費	390,000	792,649	▲402,649	謝礼金：210,000円×2人
2) 懇親会開催費	80,000	40,000	▼40,000	懇親会費
3) 福祉費	35,000	0	▼35,000	電報代、大学行事参加経費
2. 会議費				
1) 役員会会議費	65,000	237,000	▲172,000	
3. 事務費				
1) 備品費	50,000	3,024	▼46,976	事務用品（パソコンソフト含む）
2) 消耗品費	10,000	0	▼10,000	事務用品
3) 通信費・印刷費	350,000	479,057	▲129,057	第6号ハナミズキ、研修会案内の発送
4. 拠出費	50,000	0	▼50,000	同窓会連合会年会費
5. 予備費	1,000	200	▼800	銀行手数料など
支出合計	1,031,000	1,551,930	▲520,930	

▲：予算額より支出増

▼：予算額より支出減

令和2年度 事業計画・予算案審議

I. 運営に関する事項

1. 総会開催
令和2年9月6日(日) 熊本保健科学大学
※新型コロナ感染対策のため、書面開催に変更
2. 役員会
20回開催する見込み

II. 教育に関する事項

1. 講演会開催
※新型コロナ対策のため、中止

III. 調査研究に関する事項

1. 会員の活動状況の把握
2. 会員の住所録調査とデータ管理
名簿管理を小野高速印刷へ委託

IV. 福祉に関する事項

1. 式典(入学式、卒業式)参列並びに祝電送付
2. 会員、準会員の慶弔禍福

V. 出版に関する事項

1. 同総会誌『ハナミズキ』第7号発行
2. リハビリテーション学科同窓会ホームページの創設

令和2年度 収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

I. 収入の部

(単位: 円)

費目	前年度予算額	予算額	差異	備考
1. 会費収入	1,200,000	1,200,000	0	令和2年度入学生120名(40人×3専攻)
2. 補助金収入	250,000	0	▼250,000	研修会非実施のため
3. 講演会費	440,000	0	▼400,000	研修会非実施のため
4. 雑収入	88	100	▲12	銀行利息
5. 前年度繰越金	9,184,266	12,236,215	▲3,051,949	
収入合計	11,074,354	13,436,315	▲2,361,961	

▲: 前年度予算額より収入増
▼: 前年度予算額より収入減

II. 支出の部

(単位: 円)

費目	前年度予算額	予算額	差異	備考
1. 懇親会費				
1) 講演会開催費	390,000	0	▼390,000	研修会非実施のため
2) 懇親会開催費	80,000	80,000	0	懇親会費
3) 福祉費	35,000	35,000	0	電報代、大学行事参加経費
2. 会議費				
1) 役員会会議費	65,000	65,000	0	
3. 事務費				
1) 備品費	50,000	50,000	0	事務用品(パソコンソフト含む)
2) 消耗品費	10,000	10,000	0	事務用品
3) 通信費・印刷費	350,000	700,000	▲350,000	第7号ハナミズキ発送、ホームページ開設
4. 拠出費	50,000	50,000	0	同窓会連合会年会費
5. 予備費	1,000	1,000	0	銀行手数料など
支出合計	1,031,000	991,000	▼40,000	

▲: 前年度予算額より支出増
▼: 前年度予算額より支出減

リハビリテーション学科同窓会 ホームページ開設準備中

研修会案内や活動報告のため、
ホームページの開設を準備中です。
情報収集の一つとして、ぜひご利用ください。

監査報告

熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科
同窓会会長 木戸 拓耶 殿

熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科同窓会則第5章の規定により、令和3年2月/日、熊本保健科学大学スタッフルームにおいて、平成31年度決算について監査を実施しました。一般会計、帳簿類など整備良好で会務とも適切な執行が行われていることを認めます。

令和3年2月/日
監事 武藤 麗華
監事 心賀 彰



令和2年度 リハビリテーション学科総会書面決議結果について

当会では令和2年度総会を書面による決議としていました。去る12月20日までに承諾兼議決権行使書を回収し、役員で賛否等の確認をいたしましたので、その結果について、ご報告いたします。

1. 各議案の賛否確認

第1号議案 承認 889（委任668を含む）／ 承認しない 0 ／ 棄権 6

第2号議案 賛成 889（委任668を含む）／ 反対 0 ／ 棄権 6

第3号議案 賛成 889（委任668を含む）／ 反対 0 ／ 棄権 6

上記の通り、すべて原案通り承認、可決されました。

熊本保健科学大学保健科学部 リハビリテーション学科同窓会

会長 木戸 拓耶

名前・住所の変更

名前・住所の変更があった方は、小野高速印刷(株)までご連絡をお願いします。

変更前の氏名・住所と変更後の氏名・住所を合わせてご連絡ください。

小野高速印刷(株) 熊本営業所

熊本県熊本市中央区上水前寺1丁目12-12 第二コーポ・アベリア1F

連絡先 Tel: 096-382-1177 E-mail: kumamoto@ohp.co.jp

新レストランが完成しました！

旧アリーナの改装工事が終了し、9月28日レストラン・ピアアとなりました。

テラス席やコンビニエンスストア（LOWSON）も設置されています。



旧レストランの改装工事が始まります！

今までレストランとして使用していたスペースを図書館に改装するため、工事が始まっています。

回覧席が増え、より居心地の良い図書館となります。

※完成予想図

